

1. 情報に関する説明です。〔 〕内にあてはまる語句を語群から選び、記号で答えなさい。
- ① 私たちが、日常生活でどのように行動するか決定するとき、その判断材料になるものを〔 〕と呼ぶ。
- ② 〔 〕では、その日の行動や、持ち物を判断する。
- ③ 〔 〕では、目的地までの経路や交通手段、出発時刻などを判断する。
- ④ 〔 〕では、どの商品をどの店で買えばよいかを判断する。
- ⑤ 外部から入手する情報を伝える役割を果たすのが〔 〕である。

語群	ア 交通情報	イ 商品情報	ウ 天気予報	エ メディア
	オ 情報			

2. 情報と情報処理に関する説明です。〔 〕内にあてはまる語句を語群から選び、記号で答えなさい。
- ① コンピュータなどの情報機器と通信ケーブルなどを用いて情報を伝える仕組みを〔 〕と呼ぶ。
- ② 現代は、この情報通信が高度に発達した〔 〕と呼ばれている。
- ③ 入手した情報を判断に利用するには、情報の加工や整理が必要である。加工前の情報を〔 〕と呼ぶ。
- ④ 加工されたデータは〔 〕と呼んでいる。
- ⑤ 情報を入力し仕える用に加工する一連の流れを〔 〕と呼んでいる。

語群	ア 情報処理	イ データ	ウ 情報	エ 情報通信
	オ 高度情報通信社会			

3. インターネット付随サービス業についての説明です。〔 〕内にあてはまる語句を語群から選び、記号で答えなさい。
- ① インターネット付随サービス業は、インターネットを通じたサービスを提供する事業であり、代表的なものとしてインターネットの入り口を提供する〔 〕がある。
- ② インターネットで提供する画像や映像、音声やゲームソフトなどの総称を〔 〕と呼ぶ。
- ③ これらの事業に従事する情報処理技術者は、ネットワークや〔 〕に関する知識が必要である。
- ④ 大規模な情報システムの開発には、多くの人が共同で作業をするため協調性や〔 〕が求められる。
- ⑤ 現在では、あらゆる企業の業務で情報システムを活用しているため、〔 〕に関する知識や技術が要求される。

語群	ア データベース	イ コンテンツ	ウ ポータルサイト
	エ 情報通信技術	オ コミュニケーション能力	

4. ビジネスとコンピュータについての説明です。〔 〕内にあてはまる語句を語群から選び、記号で答えなさい。
- ① 〔 〕：情報を処理するための手順をプログラムとしてコンピュータに記憶させることにより、自動的に処理を実行できる。
- ② 〔 〕：プログラムをかえることにより、1台のコンピュータでさまざまな処理を実行できる。
- ③ 〔 〕：電子回路を利用し高速に処理を実行できる。
- ④ 〔 〕：プログラムどおりに処理を実行し、正確に計算できる。
- ⑤ 〔 〕：ビジネス情報の処理に活用されている、コンピュータに関する技術。

語群	ア 高速性	イ ICT	ウ 汎用性	エ 自動性
	オ 正確性			

5. 情報システムに関する説明です。〔 〕内にあてはまる語句を後の語群から選び、記号で答えなさい。
- コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報機器を利用して情報を収集・処理・伝達する仕組みを〔①〕と呼ぶ。コンピュータが通信回線に接続していない状態を〔②〕と呼び、通信回線を利用せずに単独で行う処理方式を〔③〕という。
- コンピュータなどの情報機器同士が通信回線で接続され、データの送受信が可能な状態のことを〔④〕と呼ぶ。〔⑤〕は、発生したデータを通信回線で送信して処理を行う処理方式である。

語群	(ア) オフライン	(イ) オフライン処理	(ウ) オンライン
	(エ) オンライン処理	(オ) ネットワーク	(カ) 情報システム

6. バッチ処理とトランザクション処理についての説明です。〔 〕内にあてはまる語句を後の語群から選び、記号で答えなさい。
- 発生したデータを一定期間蓄積しておき、一括して処理する方式が〔①〕である。給与計算の処理などに向いている。一件分のデータが発生すると、即座に処理をするのが〔②〕で列車の予約業務等に向いた処理の仕方である。通常この処理は、即座に〔③〕を得る必要があるので〔④〕で行われる。
- また、〔②〕よりも更に瞬時の処理を目的とした〔⑤〕がある。

語群	(ア) オンライン	(イ) オフライン	(ウ) バッチ処理
	(エ) リアルタイム処理	(オ) 結果	(カ) トランザクション処理

7. 社会で利用されている情報システムについての説明です。〔 〕内にあてはまる語句を後の語群から選び、記号で答えなさい。
- ローソン、セブンイレブンなどの〔①〕は、情報処理システムを活用している。店舗の売り上げ情報を即時に記録・管理するシステムを〔②〕と呼ぶ。常に店舗の商品の売れ行きを分析し、必要な商品を品切れさせずに配送する仕組みである。
- また、店頭で置かれた〔③〕と呼ばれる端末装置は、銀行のオンラインシステムや公共システム、チケット予約システムなどと連携して各種のサービスを提供してくれる。
- 〔④〕は商品に印刷されているバーコードを読み取り、自動的に売上金額の計算、レシートの発行、〔⑤〕の記録を行う。

- ポータブルデータターミナルは、店内に陳列されている商品の〔⑥〕を読み取るなどして、在庫管理のための商品の情報を店舗の奥にある〔⑦〕に送る。〔⑦〕は収集したデータを集計して売上や在庫管理に必要な情報を提供する。
- また必要なデータを〔⑧〕の情報システムに送信したり、〔⑧〕から提供される販売データを受信したりする。
- ホストコンピュータは、全国の販売情報を収集して販売管理や在庫管理を行う。また、集積したデータを分析して、販売促進の支援を図るデータを提供する。さらに、〔⑨〕と連携して〔⑩〕を図る機能も持つ。
- 銀行などの金融機関は、取引の迅速化や自動化を図るために、銀行間をネットワークで結んだ〔⑪〕を構築している。〔⑫〕などの端末装置はそのシステムを活用している。また、近年ではインターネットを利用して銀行取引のサービスが受けられる〔⑬〕も利用されている。

語群	(ア) マルチメディアステーション	(イ) バーコードリーダー	(ウ) インターネットバンキング
	(エ) 売上情報	(オ) オンラインシステム	(カ) POS システム
	(ク) ストアコントローラ	(ケ) コンビニエンスストア	(コ) 仕入れの効率化
	(サ) ATM [現金自動預け払い機]	(シ) 本部	(ス) バーコード

